

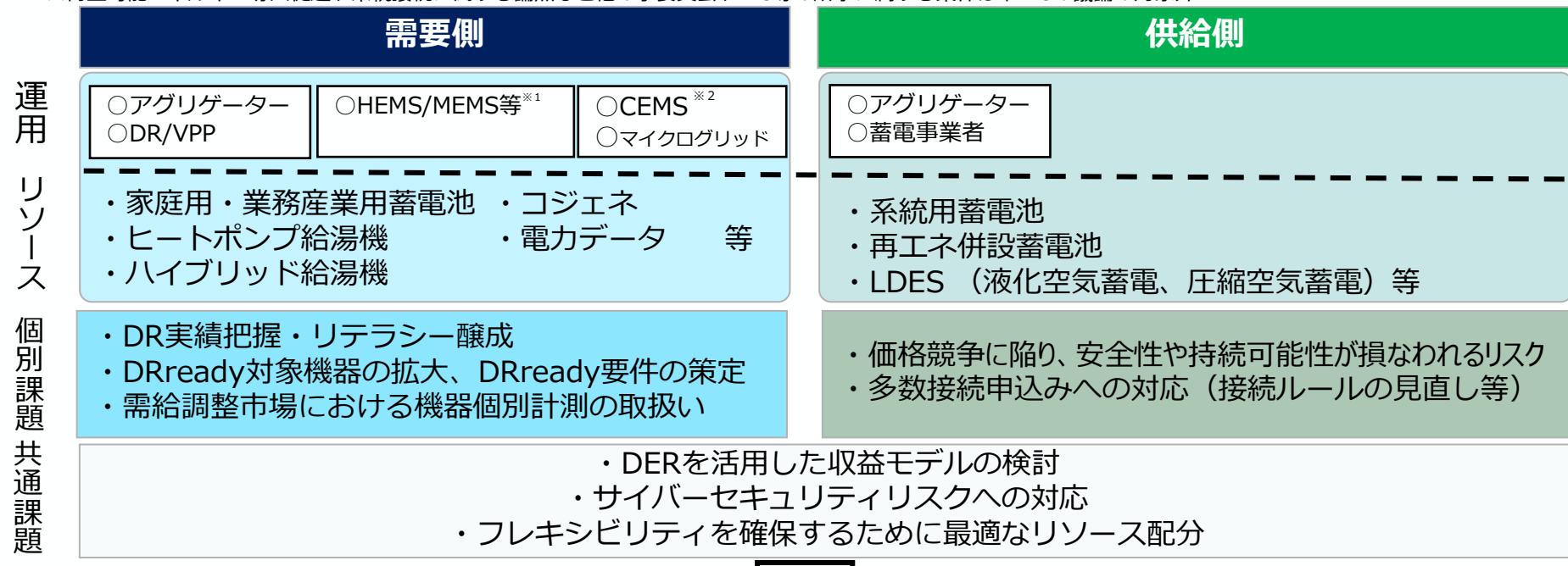
分散型エネルギー推進戦略WGの設置について

参考資料 1

- 分散型エネルギー源に関する施策は、需要側リソース（DR・家庭用蓄電池等）と供給側リソース（系統・再エネ併設蓄電池）の双方において取組を進めてきた。
- 一方、需要側リソースと供給側リソースという違いはあるものの、サイバーセキュリティやビジネスモデルの確立など共通する課題も多い。また、再エネ大量導入に必要となるフレキシビリティの提供という共通の価値を有している。
- このため、分散型エネルギー推進戦略WGを設置し、「需要側リソース」と「供給側リソース」の個別課題について検討を進めることに加えて、分散型エネルギー資源（DER）全体として見た場合に、電力システムの社会コスト最適化の観点で、どのようなリソース配分が最適かという点も含めた、総合的な検討を行う。

※本WGは①省エネルギー小委員会、②再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会、③次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会の下に位置付ける

※再生可能エネルギー導入促進や系統接続に関する論点など他の小委員会やWG等の所掌に属する案件は本WGの議論の対象外



※1 HEMS (Home Energy Management System)、MEMS (Mansion Energy Management System)
BEMS (Building Energy Management System)、FEMS (Factory Energy Management System)

※2 CEMS (Community Energy Management System)

導入見通しを踏まえた分散型エネルギー政策の方向性の検討